



東京湾再生官民連携フォーラム

平成28年度事業計画

平成28年5月
東京湾再生官民連携フォーラム

東京湾再生官民連携フォーラム
H28～H30 事業計画(案)、平成 28 年度事業計画

H28～H30 事業計画

◆申請活動実施概要

I.中長期計画（H28～H30）

東京湾再生官民連携フォーラム（以下、「フォーラム」と言います。）は、「東京湾の再生のための行動計画（第二期）」（以下、「第二期計画」と言います）の内容を着実にさらに進めるため、H25年～H27年の実績のもとに、H28年から3ヶ年計画で以下の柱の活動を計画します。これまでの3年間の活動では、非常に効果のある活動ができてきました。政策提案もその結果であり、大感謝祭も規模も大きくなり成果が出てきています。これを第一段階のロケットとして、平成28年度からの活動は、第二弾のロケットになります。それをいかに加速していくかということになります。平成27年度は企業とNPOをマッチングする未来交流会を実施しました。

これまでの課題は、官対民の論理をいかに組み合わせるかでしたが、第二段階の大きな課題は、さらに一歩進んで民の中で持続的な経済力を発揮する企業と企業以外のNPOなどをいかに組み合わせるのか。企業もCSRなどの活動を行っていますが、環境改善に社会的意義のある活動をどのようにうまく参加をしていただけるかという知恵、工夫ができるか、官とさまざま民が一体となっている組織体の、自由な議論と自由な活動ができることが、大きな責務ではないかと考えています。」

今後3年間の目標は、東京湾再生の再認識・意識を高めるためのフォーラム活動の飛躍と加速（生活者、湾岸住民に対して、さまざまな分野においての東京湾への興味・関心を引き、意識変革を起こす活動を実施し、東京湾再生・環境への意識共有の輪を広げる）を図ります。

「目標実現のためのポイント」

1. フォーラムの成長期と位置づけ、自立に向けた検討、取り組みを行います。（フォーラム法人化検討委員会(仮称)の設置：収益力の確保の検討、関係パートナーの構築、組織営業・組織形態の整備、法人化の検討、など）
2. 政策提案の面的広がり活動・政策提案の増加（累計目標5～7件）
3. 影響力を高め飛躍するための組織力の強化（情報交流・PT 同士など組織体の交流の実施。海域から陸域までの拡充、交流団体目標（100 団体）
4. 活動反響効果を高めます。東京湾を意識する量的活動に加え、質的活動の実施により情報共通から意識共有を図ります。情報提供量の拡大（ニュースリリース、HP の拡充、各 PT 活動の広報実施活動などコミュニケーション力を高めた会員の拡充、東京湾への都民、首都圏域生活者の「東京湾再生・魅力」ファン創り）事例作りの実施など。さらに、アンバサダー制度をつくり、広報の強化を図っていきます。
5. 東京湾の環境活動&魅力向上活動（各 PT 活動への強化）
 - ・ 首都圏にふさわしい東京湾の創出（アクセスPT 活動などにより親しむことができる湾の創出活

動。環境観光&産業・スポーツなどの側面を検討していきます)

- ・ 具体化した環境活動 (環境イベントカレンダー制作など各種情報収集を実施し、情報提供活動などを実施)
- ・ 江戸前の具体化 (環境をトラッキングできる魚種を選定して、今の旬を探る活動の実施と共に、日本の食文化＝江戸前文化を取り上げ調査研究の実施。また、旬な魚介の情報などの提供を実施)

<実施概要>

●PTチームの増加

- ・ 江戸前 PT の強化を図り、文化・食・歴史など多様な人材の取り込みを検討・実施いたします。
- ・ 関連領域分野を関係者と協力し、PT の設立検討 (漁業や観光、産業そしてエリア・自治体ごと一つの PT 設立などの検討) を図ります。

●交流・連携活動

- ・ 広報・情報交流のためのPTの連携を進めます。連携チーム編成 (横展開)、展示会やイベントなどへの出展活動の実施など
- ・ 東京湾環境活動の強化：東京湾エコプログラムの開発・検討 (誰でもがウェブなどから東京湾再生の知識が身につく簡単ツールの提供)

●情報の (提供・仲介) 受発信・交流 (広報)

●情報の (提供・仲介) 受発信・交流 (広報)

- ・ 都内・首都圏域における啓発活動の実施。フォーラム企画展、フェス、シンポジウムなどの開催・実施。(又は感謝祭でのフォーラム企画展の実施、他のイベント・展示会などへの出展活動など)
- ・ 実現した政策提案の裾野を広げます。(興味関心ごとを引くニュース性のアップなど)
- ・ 交流会・DB の強化を図ります。(質・量ともにアップ・収録組織団体件数：100)
- ・ 会員活動を区分し応援共有していただくファンづくりにトライいたします。例えば、東京湾ファンクラブなどの名称による意識向上を図り、東京湾・江戸前の認識を高めます。

平成 28 年度事業計画

Ⅱ. 平成 28 年度の活動内容

平成 28 年度は以下の活動を行います。

《活動内容》

Ⅰ. 情報 (提供・仲介) の受発信・交流 (広報)

- 1) 情報発信の基盤として構築したフォーラム専用のホームページ (以下、「HP」と言います。) を継続運用し、全体的な活動内容の情報発信を行います。引き続きフォーラム活動の NEWS として活動経過を順次掲載します。さらに企画運営委員会の議事概要、フォーラムの事業報告・活動経過を情報提供していきます。
- 2) 東京湾再生に係る官民連携の協働活動を推進するプロジェクトチーム (以下、「PT」と言います。) の情報強化を行い HP では、この活動情報を随時公開していきます。これらの PT 活動をわかりやすく皆様に伝えるニュースなどを紹介します。なお、現在設置されている 7 つの PT は、次のとおりです。
①生き物生息場づくり PT、②指標活用 PT、③モニタリング PT、④東京湾大感謝祭 PT、⑤江戸

前ブランド育成 P T、⑥東京湾パブリック・アクセス方策検討 P T、⑦東京湾での海水浴復活の方策検討 P T。

3) HPでは入会案内を設定しており、引き続きフォーラム会員の応募があった団体・個人の登録受付を行い、会員管理を実施。都度ごとに会員へのメール配信を実施。現在会員は個人 266 名、団体会員 109 組織になり、会員は継続して募集し、目標増として、個人 500 名の加入、150 組織の加入を目指します。また、P T会員などへの参加も必要時に募集対応していきます。

4) HP へのアクセス数の充実

東京湾大感謝祭と共にフォーラム活動の認知をさらに広げるための活動を実施いたします。

FaceBook の活用など幅広いウェブコミュニケーション活動を実施、現在進めている交流活動につなげていきます。HP で公開中の DB への参加団体組織・企業を充実させ、年内 100 団体の収録目標をめざします。

5) フォーラム活動の幅広い認知を図るため各種イベントや展示会への参加を行います。最初は、首都圏自治体などが開催している港まつりなどへの協力関係、人的つながりを図り、東京湾に面した自治体への協力とともに展示参加を進めます。

6) 東京湾沿岸域のイベント情報の発信

東京湾大感謝祭の活動を点の活動から面の活動を心掛けていきます。東京湾への関心を高めるため、東京湾沿岸域のイベント、フェアとの連携を模索していきます。具体的には、相互での告知活動やフォーラムロゴを使用した連携を図ります。また、フォーラム会員が主催する東京湾での活動やイベントなどをフォーラムHPで紹介していきます。

・東京湾沿岸域のイベント、フェアとの連携

イベント情報一覧表を作成し、ウェブ上での公開を図り、さまざまな方にフォーラム活動を周知いたします。

II.個別政策への取り組み（交流・連携活動）

●交流・連携活動

1) CSR－NPOの交流会の実施

年 2 回の開催。交流会を行い、フォーラムに参画している市民団体 NPO などの活動を東京湾周辺の企業に紹介していきます。27 年度の実績を踏まえ、参加組織・団体、企業の相互の事業を紹介し合うことで、課題解決の意図口となる場を提供します。平成 28 年度は 7 月、11 月実施予定。

NPO 同志、企業などを結び付ける一次情報（団体概要、連絡先など）の集約を行い、必要時への有効情報の提供を実施していきます。

交流会の促進ツールとして、ウェブを活用して、各種団体の交流チャンスを増やすとともに、具体的に組織が抱える取組などの情報提供を企業、各組織団体など広めていきます。これら情報共有のために記入様式を定め、企業、NPO 等交流を求める各団体に記入して頂き、交流会で公開します。また、交流会終了後もウェブ上にポータルサイトを設け公開していくと共に、交流を求める団体情報を募集し、情報量を増やしていきます。

2) 施設見学会の実施

環境改善や環境再生に寄与する施設を見学し、東京湾再生のためのノウハウの共有、改善方策検討

の参考として頂くと共に、沿岸の公共施設の管理や公共プロジェクト事業へ NPO 等が協働参加している事例を実際に見聞し、東京湾の環境再生への市民参加の参考事例研究の場を提供します。28 年度は 9 月実施予定。

●他団体との連携

引き続き国連生物多様性 10 年日本委員会などへの協力をはじめ、各組織団体と連携したフォーラム活動を推進し、環境、生き物といった地球環境全体の取り組みを図っていきます。

●東京湾沿岸域のイベント情報発信

東京湾大感謝祭の活動を点の活動から面の活動を心掛けていきます。東京湾への関心を高めるため、東京湾沿岸域のイベント、フェアとの連携を模索していきます。具体的には、相互での告知活動やフォーラムロゴを使用した連携を図ります。

●江戸前ブランドの情報発信

東京湾に生息する魚の種類は 760 種類に上ります。中でも、私たちが江戸前として、周知しているのは、あなご、あさりの貝類などわずかです。この江戸前の魚介類調査（魚種、漁獲高、地域等）を基にした新しい江戸前の在り方、外来種ホンビノス貝なども含めて、検討し、江戸前の食を魚介類から探訪していきます。江戸前の旬魚から見たデータを作成していきます。

これらの活動を通して、江戸前ブランドの向上・普及と東京湾の魚介類の地産地消を図るとともに、東京湾再生や環境への関心を高めていきます。

●調査研究（PT サポート）

それぞれの P T 活動を支援し、主に現場や実証作業、ワーキングなど具体的活動の充実を図っていきます。平成 26 年に新設された「パブリック・アクセス」プロジェクトは、第 1 回現地調査を行い、具体的な事例研究が実施されています。また東京湾沿岸エリアでは、公園施設が多く点在し、より一層の活用が求められ、2020 年にはオリンピックが開催されます。東京湾は重要な位置を占めています。フォーラムでは親しまれる東京湾の事例開発のサポートを行っていきます

「海水浴復活検討プロジェクト」では、東京都港湾局、江戸川区、港区、大田区など、行政との連携を図り、より現実に即した、東京湾の内湾での海水浴復活について検討するなど、具体的活動への調査研究を実施しています。また、これからも内湾での調査、実証活動に取り組んでいきます。

「指標 P T」は、約 2 年間の活動成果をとりまとめ、平成 26 年 11 月 17 日、東京湾再生推進会議に対し、「東京湾再生のための行動計画（第二期）の新たな指標」を政策提案しました。平成 27 年度は、新しく「指標活用 P T」（実質活動 28 年度）として、指標提案を受けた東京湾再生推進会議の具体的行動との協働し、提案した指標に関しての協議を図っていきます。

「生きもの生息場づくり P T」は、平成 27 年に政策提案を取りまとめ年度内に東京湾再生推進会議への提案を予定しています。また、新たに新規 P T メンバーを募集して 28 年度も引き続き活動を継続していきます。

今後新設される P T の活動サポートの実施を行います。

●相談窓口（コンサルティング）

①連携・調整の活動で具体化された相談受付をウェブや会員とコミュニケーションし、実施していきます。

② P T 活動における多様な主体との相談、調整等を行います。

●啓発・人材育成

各 P T の啓発・人事育成サポートの実施に取り組みます。

Ⅲ. 統一テーマでの活動

1) 「東京湾大感謝祭」(以下、「大感謝祭」と言います。)は、平成 27 年度は東京湾大感謝祭実行委員会を組織して、より自主性のある活動と組織化による作業チームの分担体制ができました。平成 28 年度はさらにプログラムを充実させること、4 年目を踏まえて、東京湾エリアのイベントとの相互連携の人的交流、さらには実行委員会としての東京湾エリアのイベント出展などを検討していきます。「東京湾大感謝祭」は、平成 28 年度も引き続き横浜・赤レンガにての開催を予定しています。

プログラムは、平素のフォーラム活動、P T 活動における成果発表の場となり、東京湾再生への全体活動の普及・啓発を意図しています。参加型のプログラムの検討やフォーラム事務局での感謝祭企画展示などを検討していきます。また、広報活動の一環として感謝祭をサポートしていきます。平成 28 年度は N P O など関連団体の参加をより多くした交流の輪の実現を検討していきます。

赤レンガ倉庫のホールにおいては、市民団体、行政、企業等による東京湾に関する各種歴史・文化展示、東京湾の環境再生への取り組みパネル展示や実際の触れ合いや観察など、体験作成(海藻おしぼ)できるワークショップを実施いたします。この大感謝祭は、平成 28 年度の入場者目標は 9 万人を設定しています。東京湾再生への関心を高めるには、生き物に接し、触れる移動水族館などが展示コンテンツの中でも注目されています。平成 28 年度も実施予定です。生き物や環境全体への関心を高めることで、東京湾からの恵みの重要性を認識していただき、自分たちにとり、東京湾の重要性と多様性を認識する機会を提供し、フォーラム活動の意味を理解していただける組織・団体、個人の方々等、一人でも多くの賛同者を増やし、東京湾再生の輪を広げていきます。

Ⅳ. 政策提案

上記Ⅰ. からⅢ. の活動により得られた東京湾再生への成果、課題等を取りまとめ、東京湾再生進会議へ、具体的な取組や改善策等の提案を目指します。

平成 28 年度は、東京湾再生のための行動計画(第二期)へ寄与するため質・量ともに向上した政策提案ができるように P T 会合や企画運営委員会での審議の深化を心がけます。

生き物生息場づくり P T では、平成 27 年 10 月に『生き物生息場づくりに関する提案書』を取りまとめ、平成 28 年 2 月 18 日に、東京湾再生推進会議に提出した。(來生議長より推進会議の山本博之幹事長・海上保安庁総務部参事官に手交)平成 28 年度は引き続き『生き物生息場づくりに関する第二期計画』に向け P T 内における議論を深めて行きます。

その他、平成 28 年度には新たに P T 設立申請が計画されており、政策提案に向けて検討が進められる予定です。

平成28年度事業計画－2

2016年 4月	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング交流会広報・参加団体募集
	東京湾大感謝祭参加企業募集
	東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援
	東京湾大感謝祭参画支援(イベント企画調整)
	東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
2016年 5月	H28 第1回企画運営委員会開催
	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング交流会広報・参加団体募集
	東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援
	東京湾大感謝祭参画支援(イベント企画調整)
	東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
2016年 6月	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング交流会参加団体情報取りまとめ
	東京湾大感謝祭参画支援(イベント企画調整)
	東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援
	東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
2016年 7月	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング&交流会開催(企業・NPO)
	東京湾大感謝祭参画支援(イベント企画調整)
	H28 第2回企画運営委員会開催
	東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
2016年 8月	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング交流会フォローアップ
	モニタリングPT支援(東京湾一斉調査)
	東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援
	東京湾再生官民連携フォーラム及び東京湾大感謝祭チラシ、ポスター作成配布など
	東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
2016年 9月	東京湾大感謝祭参画支援(イベント企画調整)
	東京湾再生官民連携フォーラム・総会支援
	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング情報募集・公開
	H28 第3回企画運営委員会開催
	東京湾再生官民連携フォーラム企業・行政等施設見学会
	東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
2016年10月	東京湾大感謝祭参画支援(イベント企画調整)
	東京湾再生官民連携フォーラム 第4回通常総会
	東京湾大感謝祭開催
	東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援
	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング交流会広報・参加団体募集
	東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
2016年 11月	東京湾再生官民連携フォーラム東京湾大感謝祭報告書作成
	東京湾再生官民連携フォーラム 大感謝祭来場者へのアンケート調査実施集計
	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング交流会参加団体情報取りまとめ
	東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
2016年 12月	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング&交流会開催(企業・NPO)
	東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援
	東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
2017年 1月	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング交流会フォローアップ
	東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援
	東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
2017年 2月	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング情報募集・公開
	東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援
	東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
2017年 3月	H28 第4回企画運営委員会開催
	東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援
	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング情報募集・公開
	東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)

平成28年度予算

2016/5/17

【収入の部】

(単位:円)

科 目	H27年度決算	H28年度予算	備 考
(1) 寄付金収入	207,275	200,000	
(2) 助成金収入	5,000,000	4,000,000	セブン-イレブン記念財団
(3) 雑収入	17,721	0	
普通利息	365	0	
その他	17,356	0	
(A) 単年度収入合計	5,224,996	4,200,000	
(B) 前年度繰越金	65,815	83,549	
(C) 収入合計 =(A)+(B)	5,290,811	4,283,549	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	H27年度決算	H28年度予算	備 考
(1) 事務局経費	3,428,174	3,188,120	
1) 事務局人件費	2,636,604	2,668,120	給与、通勤費等
2) 事務局運営費	791,570	520,000	HP管理・更新、通信費
(2) フォーラム及び大感謝祭費	1,779,088	1,010,000	企画運営委員会会場借り上げ費、フォーラム総会会場借り上げ費、広報宣伝費等
(D) 単年度支出計	5,207,262	4,198,120	
(E) 単年度収支差額 =(A)-(D)	17,734	1,880	
(F) 次年度繰越金=(C)-(D)	83,549	85,429	